


せい ろう まち  
**せ 聖籠町**  
**議会だより**

VOL.144  
9月議会  
令和5年  
11月17日発行

新潟県聖籠町議会



- 新しい議会構成が決まる (P.2)
- 令和4年度決算審査特別委員会 (P.8)
-  聖籠町赤十字団奉仕団の声 (P.13)
- ズバリ直言! 町政を問う (P.15)

元気いっぱい  
ガンバロー!  
(町立せいろう幼稚園  
運動会)

# 第4回9月臨時会

# 新しい議会構成が決まる

令和5年8月27日執行の聖籠町議会議員一般選挙は、定数14人に対し16人が立候補。その結果、新人3人を含む14人が新たなメンバーに選出されました。9月7日に改選後初の臨時議会を開き、議長に宮沢光子議員、副議長に手嶋満議員を選出しました。

議長はこれから4年間、町民の代表者、町民の声を代弁者として、責任感をもって行政の監視機能を果たし、より良いまちづくりに尽力してまいります。

## 議長に宮沢光子議員

## 副議長は手嶋満議員



宮沢光子議長

議長選には2人が立候補し、議員全員の無記名投票による選挙を行いました。その結果、宮沢光子議員7票、長谷川六男議員7票で決まりました。同数のため、くじ引きによる決選の結果、宮沢光子議員が当選しました。



手嶋 満副議長

副議長選挙には2人が立候補し、選挙の結果、手嶋満議員8票、長谷川六男議員6票で選出された正副議長です。

議長選挙結果  
宮沢光子議員 7票  
長谷川六男議員 7票

副議長選挙結果  
手嶋 満議員 8票  
長谷川六男議員 6票

## 議長就任あいさつ

宮沢光子

町民の皆さまには平素から町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび町議会議員選挙後の臨時会におきまして、議長に就任させていただきました。今回の改選後、14人の議員の年齢構成は20代から70代まで多様な人材がそろいました。このことにより、議会に対する町民の関心がさらに広がっていくことを期待したいと思っております。

町の執行機関に対して、議会は批判するだけではなく、是々非々の関係を意識したいと思っております。日頃から研さんを積み、考えた政策を提言する議員がさらに増えることを期待しております。

町民の生活と福祉の向上、さらなる町政の発展に向けて、議会全体で建設的な政策議論につなげていきたいと思っております。

町民の皆さまに分かりやすく開かれた議会運営を目指します。今後とも町民の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。議長就任のごあいさつとさせていただきます。

# 新議員の紹介 ～より良い聖籠町を目指し議会改革を～



栗原博久

①年齢・期数 76歳 1期目  
②行政区 次第浜  
③4年間に向けた抱負  
聖籠町に羽越新幹線新駅を誘致し、町発展に尽くしたい。



長谷川進一

①年齢・期数 72歳 1期目  
②行政区 聖中ヶ丘  
③4年間に向けた抱負  
福祉の向上・充実。声なき声を議会に。



川上りな

①年齢・期数 26歳 1期目  
②行政区 聖中ヶ丘  
③4年間に向けた抱負  
町民の声が活きる町政となるよう、力を尽くします。



伊藤千穂

①年齢・期数 52歳 2期目  
②行政区 亀塚  
③4年間に向けた抱負  
より一層、町民に寄り添えるよう尽力してまいります。



高崎美由貴

①年齢・期数 48歳 2期目  
②行政区 亀塚  
③4年間に向けた抱負  
議会改革、農業振興、政策提言に取り組みます。



齋藤 豊

①年齢・期数 65歳 2期目  
②行政区 杉谷内  
③4年間に向けた抱負  
選挙公報に掲げた公約の実現に向けて努力いたします。



青木 順

①年齢・期数 42歳 4期目  
②行政区 苔沼  
③4年間に向けた抱負  
子どもたちに今より住みやすい町をバトンタッチ。



長谷川六男

①年齢・期数 68歳 3期目  
②行政区 蓮湯  
③4年間に向けた抱負  
安心・安全・健康で生き生きした活力ある聖籠町に!



宮沢さやか

①年齢・期数 43歳 3期目  
②行政区 網代浜  
③4年間に向けた抱負  
子育て支援の充実・議会の見える化に取り組む。

# 新たな委員会構成が決まる

委員会は、議案等を詳しく審査するために設置されています。聖籠町には、総務文教・厚生産業・広報広聴の3つの常任委員会と、議会運営の委員会があります。傍聴を希望される方は議会事務局までお越しください。

◎委員長 ○副委員長

## 厚生産業常任委員会

町民課、保健福祉課、産業観光課、ふるさと整備課東港振興室、上下水道課および農業委員会の所管に関する事務の調査ならびに議案、請願、陳情等の審査を行います。



長谷川進一 中村恵美子 長谷川六男 栗原博久  
○川上りな ◎高崎美由貴 手嶋 満

## 総務文教常任委員会

議会事務局、総務課、税務課、総合政策課、生活環境課、会計室、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員および固定資産評価審査委員会の所管に関する事務の調査ならびに議案、請願、陳情等の審査を行います。



斎藤 豊 須貝龍夫 田中智之 宮沢さやか  
○青木 順 ◎伊藤千穂 宮沢光子

## 議会運営委員会

円滑な議会運営を行うため、議案や議会会議規則、委員会条例、議長の諮問事項について調査します。



高崎美由貴 手嶋 満 中村恵美子 長谷川六男  
○伊藤千穂 ◎宮沢さやか 宮沢光子

## 広報広聴常任委員会

年4回の議会だよりの発行などにより、議会に関する情報を広く町民に知らせ、町民の議会に対する関心を高める役割を果たします。



川上りな 手嶋 満 伊藤千穂 長谷川進一  
○斎藤 豊 ◎須貝龍夫 宮沢光子



須貝龍夫

①年齢・期数 71歳 8期目  
②行政区 次第浜  
③4年間に向けた抱負  
町民一人ひとりの声を町政に反映できるように頑張ります。



中村恵美子

①年齢・期数 64歳 8期目  
②行政区 外畑  
③4年間に向けた抱負  
町民目線に立って、議会活動を行っていきます。



田中智之

①年齢・期数 58歳 4期目  
②行政区 二本松  
③4年間に向けた抱負  
税金の無駄遣いと用途を、徹底的にチェックする。



宮沢光子

①年齢・期数 70歳 6期目  
②行政区 網代浜  
③4年間に向けた抱負  
町民に見える、聞ける、わかる議会活動をします。



手嶋 満

①年齢・期数 65歳 2期目  
②行政区 藤寄  
③4年間に向けた抱負  
町政への提言を通じて安心して暮らせるまちづくり。

## ※一部事務組合等の議員を選任

○新発田地域広域事務組合

宮沢 光子 田中 智之

○豊栄郷清掃施設処理組合

須貝 龍夫 中村恵美子

○新潟東港地域水道用水供給企業団

青木 順 栗原 博久

○新潟県後期高齢者医療連合

高崎美由貴

○新発田市・聖籠町議員協議会

手嶋 満 青木 順

宮沢さやか 長谷川進一

川上りな

※一部事務組合とは、複数の普通地方公共団体や特別区が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織のことです。

# 9月議会 定例会

令和5年9月定例会は9月20日から10月3日まで14日間の会期で開かれました。  
一般質問には14人中10人が登壇。一般会計補正予算は、歳入では、ふるさと応援寄付金。歳出では町民会館の冷温水発生機交換に係る経費、せいらう保育施設設計業務と地盤調査委託料ならび施設の造成工事が計上され、可決しました。

## 補正 予算

## 認定こども園への 負担金算定誤り

## 国・県へ 補助金の返還

### 主な質疑

**Q** 町長としてどのように感じているか

**A** 長谷川六男議員 認定こども園への交付金算定で、職員の入力ミスにより約1億円近い金額が国や県へ返還となる。指導・監督責任の立場にある町長として、どのように感じているか。

**A** 総合的に判断

形に表すために町長自ら、自身を処分すべきではないか。

**Q** 入力ミスとは

**A** 栗原博久議員 入力ミスと言うが、毎月ミスを犯したのか、それともある瞬間に多額の金額を入力したのか。

**A** 毎月の概算払と年度の終わりの支払い

**A** 子ども教育課長 毎月の支払いは概算払いで支払い、年度の終わりにシステム入力する際、さらに多額の金額が支払われなければならぬ数字が出てきたので、その額を支払った。

**A** 深く反省するとともに、重く受け止める

**町長** 約9千9百万円の事務的なミスは、パソコン処理上の初歩的なミスである。職員に対する注意喚起が足りなく、深く反省するとともに重く受け止めており、今後業務に対する姿勢について指導を徹底して行なっていく。

**Q** 反省すべきは町長

**田中智之議員** 反省すべきは町長であり、反省を

**Q** どのように再発防止に努めるか

**青木順議員** 町長は初歩的なミスと言っているが、初歩的なミスと捉えることに問題があると思う。どのように再発防止に努めるつもりか。

**A** 意識を持って仕事に臨むように

**町長** 作業そのものは入力ミスであり、初歩的な事務ミスである。なぜそのような初歩的な事務ミスを起こしたのかが問題である。職員には意識を持って仕事に臨むように話して行く。

## 保育施設の新設に対応

### 主な質疑

**Q** せいらう幼稚園の中で対応は

**青木順議員** 既存のせいらう幼稚園の中で対応できるのではないかと、思う。それに対してはどの程度検討したのか。

**A** 既存の施設は築40年近く経過

**子ども教育課長** 既存の施設は、築40年近く経過している、ここ十数年以内にかんがりの改修が必要となってくる。それらを考えたときに、新たに建設する方が安く済むということ、今回の方向となった。

**Q** 6年度待機児童の心配は

**手嶋満議員** 新設予定せいらう保育施設は、令和6年度の着工で7年度開設予定と思うが、6年度は待機児童の心配はないのか。

**A** 待機児童を出さず

**町長** 令和6年度は、せいらう幼稚園と法人で受け入れ体制を進めて行く。今議会終了後に説明会を開き、考え方を説明する。現状における予測では待機児童を出さずに対応できると考えている。

項目	補正額	主な内容	総額		
一般会計	1億9908万円	子どものための教育・保育給付交付金(国・県補助金返還金)	-1億3966万円	87億8336万円	
		ふるさと応援寄付金	4000万円		
		社会教育施設整備事業債	5670万円		
		施設型給付費負担金返還金	9986万円		
		繰越金	1億3005万円		
	歳入	1億9908万円	施設型給付費負担金		-8232万円
			ふるさと応援寄付金返礼品		1000万円
			せいらう保育施設造成工事		1042万円
			せいらう保育施設設計業務委託料		1048万円
			国・県補助金返還金(児童福祉費・障害福祉費)		6190万円
出		町民会館冷温水発生機更新工事	6300万円		

※万円未満切り捨て



# 令和4年度 決算認定

# 安心して子育てができる町 ～新幼稚園・私立認定こども園スタート～

## 一般会計決算

**歳入** 90億 141万円 (前年度対比 4.9% 減)

**歳出** 84億 413万円 (前年度対比 3.6% 減)

歳入で主なものは、ふるさと応援寄付金などが大幅な増と個人町民税が若干増となったものの、法人町民税および固定資産税が減少し税収全体では 1.2%の減。歳入全体では 4.9%の減となった。

歳出では、道路維持費や道路改良費等の増加があったものの認定こども園等の補助事業の終了により 3.6%の減となった。



ハモニーこども園



はじめこども園

## 令和4年度 一般会計・特別会計 決算

会計名		歳入	歳出	採決結果	
一般会計		90億 141万円	84億 413万円		
特別会計	国民健康保険	事業勘定	13億 126万円		12億5951万円
		施設勘定	1億1299万円		9692万円
	介護保険		12億8137万円		12億4066万円
	後期高齢者医療		1億 358万円		1億 263万円
県営開拓パイロット事業		1151万円	706万円		
事業会計	下水道事業	収益的収支	7億6878万円		6億9610万円
		資本的収支	2億1585万円		4億7636万円
	水道事業	収益的収支	2億9200万円		3億 855万円
		資本的収支	2400万円		9178万円
<b>合計</b>		<b>131億1275万円</b>	<b>126億8370万円</b>		
<b>前年度対比</b>		<b>-3.1%</b>	<b>-1.5%</b>		

※万円未満切り捨て

## 監査委員の意見

精度の高い予算見積り管理、執行が求められる

審査に付された、一般会計および特別会計の歳入・歳出の決算全てについて関係法令により諸帳簿等を監査したが、いずれも証拠書類と符合し適正であると認める。

一般会計・特別会計の決算は、全て黒字決算となっている。しかし、扶助費等の社会保障関係費や施設維持費など歳出の硬直化が見られる。歳入では、税等自主財源の大幅な伸びは見込めない。財源等は限られており、真に必要な町民サービス向上を行えるよう持続可能な行財政運営に努めるよう望む。

## 注目事業 お金の使われかた

令和4年度の主な歳入		令和4年度の主な歳出	
固定資産税	32億7254万円	施設型給付費負担金	6億8362万円
町民税 (個人)	5億6960万円	私立保育所等運営費補助金	1363万円
町民税 (法人)	3億3509万円	私立こども園支援金	1760万円
子どものための教育・保育金給付金 (国)	2億8312万円	除雪作業委託料	8237万円
子どものための教育・保育金給付金 (県)	1億1976万円	道路改良工事	1億8541万円
ふるさと応援寄付金	3億1309万円	ふるさと応援寄付金返礼品	9717万円

※万円未満切り捨て

# 令和4年度 決算

# 徹底検証

～使われ方チェック～

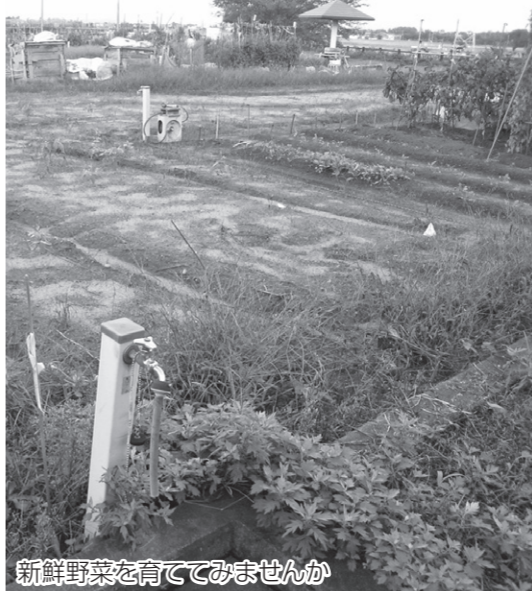
## 決算特別委員会

決算特別委員会は、前年度に執行された一般会計、特別会計事業が適正なものであったかを慎重に審査しました。各会計ごとに事業の成果・実績などを確認するため、担当課から詳細な説明を受け、委員会では細かく質疑を行いました。その意見書の中から一部を紹介します。



### ふれあい農園

#### 将来的には売却を



新鮮野菜を育ててみませんか

ふれあい農園の耕作者は町民より近隣の人が多く、未利用地も多く、今後利用が減少するようであれば、将来的には売却の検討を望む。



### 資源ごみ

#### 回収増を図れ



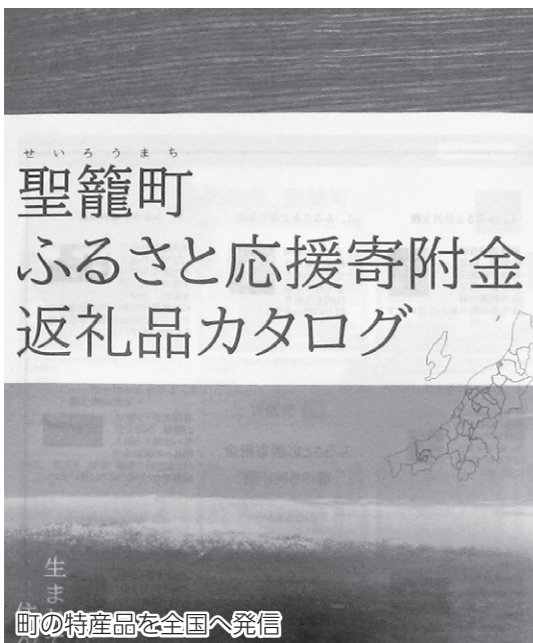
リサイクルで収入増

アルミ缶等町で回収している資源ごみの売却相場が高騰している。回収した資源ごみ収入は、町の収入となり町民に還元されるので、資源ごみ回収増を図れ。



### ふるさと応援寄付金

#### 県内産米拡大を



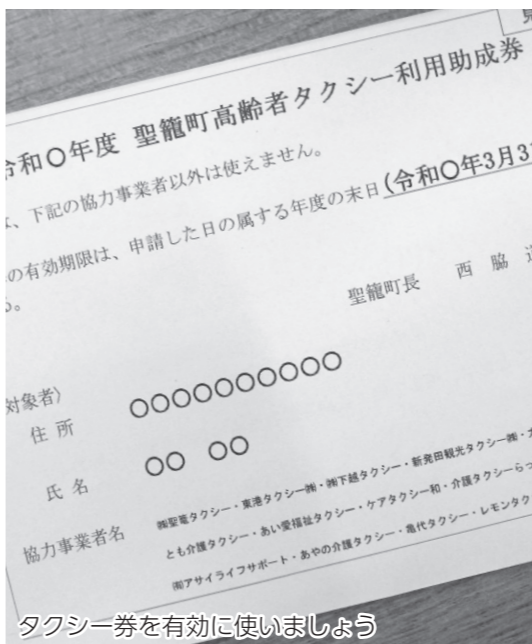
町の特産品を全国へ発信

ふるさと応援寄付金者への返礼品には、町の特産物のコメやブドウ、サクランボ等にも力を入れるべき。また、コメは県内産米の使用向上を図るよう望む。



### タクシー利用助成券

#### 買い物難民支援のため増額を



タクシー券を有効に使いましょう

高齢者で、運転免許証のない人や、買い物に苦労している方への支援策として、タクシー利用料扶助費の増額を検討すべきだ。



### 介護保険

#### 居宅介護者への支援増を



皆さんで支えていこう高齢者（はすがた園）

居宅介護は、家族の負担が大きいため、軽減の負担軽減のため、介護福祉用具購入費や介護住宅改修費の増額を検討すべきだ。



### 空き家対策

#### 所有者に周知を



空き家に困ったら町へ相談

空き家の所有者には、納税通知書を送付する際、維持管理する法律等に関する情報や、知事からの補助金等の情報提供、空き家の解消に向けた取り組みが減少している。

### 9月定例会・人事案件

#### 監査委員の選任

聖籠町監査委員の田中智之議員が任期満了となったことから、後任に中村恵美子議員を選任することに於いて質疑が行われました。

**田中智之議員** 中村議員は、特定の政党の公認である。中村議員に限らず特定の政党に属している方が、果たして公正・公平・中立の立場から町の行財政の判断ができるのか若干の不安を感じる。

町長はそのあたり違和感を持たなかったか。  
町長 田中議員からいろいろと指摘はあったが、あまりそこに深入りするのは個人的な問題かと思う。あくまで町の監査委員として、適任であるというところで提案している。

出席議員12人  
賛成5・反対7  
反対多数で不同意となりました。

#### 教育委員に高橋真弓さん(聖中ヶ丘)



任期満了に伴う再任の人事案件に全員賛成で同意しました。学校活動に関心をもち、ボランティア活動にも積極的に参加されておられる方です。引き続きご活躍されることを期待します。

### 第3回7月臨時会

一般会計補正予算は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ678万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ85億8427万円と定める予算を全員賛成で可決しました。

**歳入**  
繰越金

**歳出**

- ・新潟県消防大会出場に伴う経費
- ・敬老会中止に伴う予算の組み替え
- ・町民会館(文化会館)空調設備等の故障に伴う経費



### 主な質疑

令和5年度の敬老会は、アンケートを実施した結果などから、開催をしないと決定しました。このことに対して質疑がありました。

**Q 今後の在り方は**

長谷川六男議員 100人の方が絶対に参加したいという意向を示している。今年度は開催しないとしても、今後に向けて敬老会の在り方を検討すべき。

**A 皆さんの合意を得ながら**

町長 該当者の方々もかなりの人数があり、いろいろな考え方を抱いている。ある程度、皆さんの合意を得ながらやっていく必要があると考えている。

**Q 何らかの形で開催を**

田中智之議員 アンケートの結果から、4割以上が参加するとの回答をいただいた。また半数以上が、何らかの形での開催を期待していると回答があった。どのようにその人たちの思いをくみっていくのか。

**A 在り方を考えていく**

町長 敬老会を開催するときに、出欠の取りまとめ等を老人クラブの方々にお願していくにも、すでに解散している集落があるなど課題が現実の問題としてある。敬老会の在り方を考えていく必要があると考えている。

## みなさんの「声」 請願1件を調査

### 全員賛成で採決

◎「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願

「提出者」新潟県私学の公費助成をすすめる会

会長 中村 直美

「紹介議員」宮沢光子・中村恵美子  
「要望事項」

- ◇国への要望◇
  - 私立高校生への就学支援金制度を拡充し、年収590万円から910万円未満世帯を授業料無償にすること。
  - 私立高校入学金への新たな助成措置を講じること。
  - 私立高校において専任教員増が可能になるよう、経常費助成を増額すること。
- ◇県への要望◇
  - 学費の公私間格差の是正へ国の制度拡充と相まって、県独自の学費軽減制度を拡充してすること。

- (1) 年収590万円未満世帯において、施設設備費及び入学金の負担を軽減するため助成対象の拡大と助成の増額を行うこと。
- (2) 国の支援が不十分な年収590万円から年収910万円未満世帯に対し、新たな助成措置を講じること。

●私立高校において専任教員増を促進するため、経常費助成を増額すること。

↓採択を受け、国と県に意見書を提出。

### 議会の豆知識

○\*請願書とは?  
法に基づき、公の機関に要望を述べる意見書のこと。

○\*意見書とは?  
地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して議会の意思を意見としてまとめたもの。



Vol.17

お届けします!  
笑顔で集う  
町民の声

### 質問項目

- Q1 赤十字奉仕団の活動から思うことは?
- Q2 聖籠町に期待することは?

### 聖籠町赤十字奉仕団の声



委員長 **二宮 秀男さん**

- 1 聖籠町も災害が起きる可能性はゼロではない。その時に赤十字奉仕団として何が出来るか、何をしなければならぬかを考えていきたい。
- 2 町民一人ひとりがボランティア活動に興味を持てるように、町も取り組んで欲しい。



理事 **中村 耕次さん**

- 1 先人たちの熱意と努力で「継続は力なり」これからも微力ではあるが、地域活動に関わりたい。
- 2 町民だれもがその人らしく健康で自立した生活ができるよう、さらなる「つながる」活動に努めてもらいたい。



団員 **中村 洋子さん**

- 1 横のつながり、縦のつながりを実感しながら、地域活動に参加できる場。(自分に出来ることから無理せず実行!)
- 2 これからも聖籠町に住み続けたい町ランキングに選ばれるよう行政と住民が一緒になって知恵を出し合い、町づくりが出来たら良いと思います。



団員 **市川イチ子さん**

- 1 日赤ではいろいろな活動をやっているが、個人の力では限界があり難しいことが多い。
- 2 町民誰もがボランティアに楽しく参加できるよう工夫が必要である。

# 議員表決結果報告

## 令和5年7月臨時会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	斎藤豊	高崎美由貴	伊藤千穂	手嶋満	宮沢さやか	小川勝也	青木順	田中智之	高松守雄	宮沢光子	中村恵美子	須員龍夫	長谷川六男	五十嵐利栄	採決結果
町長	令和5年度聖籠町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決

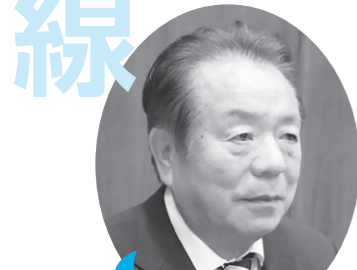
## 令和5年9月定例会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	川上りな	長谷川進一	栗原博久	斎藤豊	高崎美由貴	伊藤千穂	宮沢さやか	長谷川六男	青木順	田中智之	中村恵美子	須員龍夫	手嶋満	宮沢光子	採決結果	
	聖籠町教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	同意
	監査委員の選任につき同意を求めるについて	無記名投票											欠	無記名投票	-	不同意 賛成5：反対7	
	令和5年度聖籠町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	可決
	令和5年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	可決
	令和5年度聖籠町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	可決
	令和5年度聖籠町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	可決
	令和5年度新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	可決
	令和5年度聖籠町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	可決
町長	令和4年度聖籠町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	令和4年度聖籠町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	令和4年度聖籠町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	令和4年度聖籠町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	令和4年度新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	令和4年度聖籠町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	令和4年度聖籠町水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	財産の無償貸付について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	令和5年度聖籠町一般会計補正予算(第5号)	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	×	○	-	可決
請願	「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
議員	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書(国あて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書(県あて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

# 新幹線 東港からの税込拡大策は

## 町長 地区計画で対処



くりはら ひろひさ 栗原博久議員の視点

問 近い将来、富山から青森間の新幹線が計画に

羽越新幹線の  
新駅誘致を

町長 東港からの税込は、平成19年度から集計しており、19年度は町全体の86%、年々減少し今は80%になっている。土地利用については、市街化調整区域も開発進捗に合わせて地区計画を定め、市街化区域への編入を要望する。

問 東港からの固定資産税、償却資産は減少している。町はさらなる企業誘致に努めるべき。東港周辺の土地利用、隣接の蓮湯地区の農地整備事業は、農家のためにも再検討すべきだ。



さらなる企業誘致に努めるべき東港

町特産農産物への  
支援を

町長 今の段階では新駅誘致について発言を控えたい。

問 町の農業振興は重要な課題である。町特産のサクランボ等果樹生産農家への支援は、町長 町単独の支援について、ハード面では、雨よけハウスの設置支援やソフト面の農産物販路拡大支援事業です。

# 医療費 給食費の無償化を

## 町長 国の動向を注視したい



なかむら えみこ 中村恵美子議員の視点

問 子どもの国民健康保険の均等割額をゼロにすることはできないか。

町長 国の子どもに対する支援策を注視しながら考えたい。

問 子どもの医療費を18歳まで無償化にできないか。

町長 国では給食費の無償化をしている自治体の調査を行い、1年以内に結果を公表し具体的方策を検討する。今後、国の動向を注視したい。

問 新潟県内30市町村のうち19市町村が、何らかの給食費の無償化をしている。完全な無償化が一番いいが、半額助成はできないか。また、第2子以降の無償化はできないか。



子どもたちを育てやすい町に

補聴器購入助成額の  
拡充を

町長 他の健康保険加入者との公平性が保たれない。町長 令和5年度では、県内全自治体で助成が実施されている。検討の結果、非課税世帯では上限3万円を8万円に、課税世帯は上限2万円を4万円に引き上げを令和6年度から実施したい。



# 福祉

## 福祉向上・充実を

町長 今後とも充実を図る



はせがわ しんいち 長谷川進一議員の視点

**問** 介助が必要な障がい者で、介助者が病気等で介助ができなくなった場合、町の支援策はあるか。

**町長** 町内では受け入れ施設がないため、近隣市の施設に委託して受け入れてもらっている。

**問** 利用申し込みをしたら、いつでも入所可能か。

**保健福祉課長** 基本的には、町に申請してもらい対応できる施設を見つける。しかし、時間が掛かる。

**問** 特別養護老人ホーム希望入所待機者は何人いるか。

**町長** 町内2施設への希望入所待機者は26人。

**陽の当たる町政を願**

**問** 蓮濁山の口地区は、かつて県の東港開発で集団移転対象区域であったが、計画縮小により一方的に移転中止となった。その間、環境整備は全くされず生活にも支障があった。その後若干改善されたが、いまだに十分ではない。集落内道路も移転中止前と変わらず狭いため、降雪時に大変苦労している。消雪パイプを敷設すべきではないか。

**町長** 突然の移転中止依頼、町も環境整備は図ってきた。しかし、まだ十分であれば地元の皆さまと話をし、検討していきたい。



家族も安心できる中井さくら園(新発田市)

# 防犯

## 中学校の防犯対策 現状と今後は

教育長 教育委員会で話し合う



さいとう ゆたか 齋藤豊議員の視点

**問** 聖籠中学校は平成13年4月に開校した。同年6月に大阪教育大付属池田小学校で、児童殺傷事件があり、このような事件を受けて、平成16年に文部科学省が学校施設の防犯対策に関する調査・研究報告を示した。そこには「地域に開かれた学校施設とは、不審者に対して何の備えもなく空間が開かれていないことを意味するものではない。児童生徒等の安全をまず第1に確保しつつ、開かれた学校施設づくりを推進していくことが重要である」と明記されている。このことを踏まえ、現状の中学校の敷地内へは、何時でもどこからでも入れる。生徒の安全・安心

**教育長** 学校施設はしっかりと守るべきだと考える。学校を通して保護者の方、地域の方の考え方を、声を聞いていきたいと思う。それに基づいて適切に対応していきたいと思っている。また、教育委員、教育委員会事務局の考え方を確認するとともに、学校にもどういったのかということについての再確認を行いたい。



いつでもどこからでも入れる聖中敷地

## 猛暑 農業災害発生時の対応は

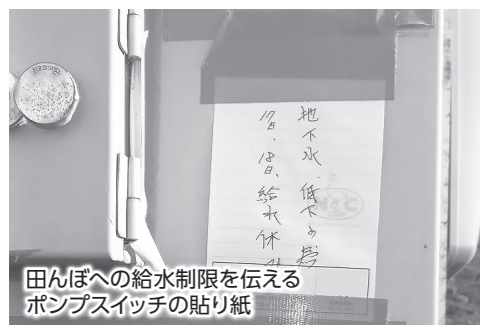
町長 関係機関と連携し状況把握



たかざき みゆき 高崎美由貴議員の視点

**問** 想定外の農業災害が発生している。災害時の対応だけでなく、被害を未然に防ぐような注意喚起や被害状況を把握し必要な対策が取れるような仕組みを構築できないか。

**町長** 県、JA北越後の担当課と連携し対応している。災害発生時には巡回を行い互いに把握した情報を交換しながら、災害対応に当たっている。また、被害が予想される際は、農家組合長を介して農家への情報提供や注意喚起を行っている。今後も連携を密にしながら、農業災害の対応に当たりたいと考えている。関係機関との連携の強化を図り、対応の在り方も検討していきたい。



田んぼへの給水制限を伝えるポンプスイッチの貼り紙

### 8月末日も猛暑日だった

**問** 小・中学校の夏休みは7月25日ごろから8月27日ごろまでの33日間となっている。8月31日まで延長する考えはないか。

**教育長** 休業日の年間合計を65日と定めているが、夏・冬・春休みの開始日と終了日は各学校が定めることになっている。休業日の年間合計が65日以内であれば、臨機応変な対応を取ること可能となっている。

## QOL 本町でもがん患者への支援を

町長 時代に合った対応を検討する



みやざわ ゆか 宮沢さやか議員の視点

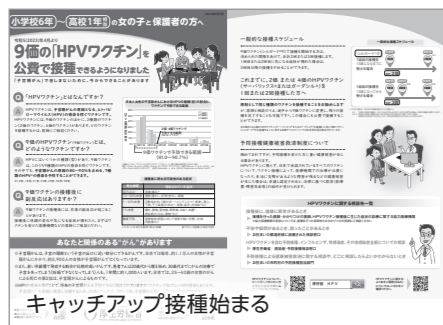
**問** アピランスケアへの助成は、その方のQOL改善にもつながる。本町でも支援を検討しては。

**町長** ニーズや対象者の把握はできていないが、今後は他市町村や県・国の動向を注視し、必要性を検討していく。

**HPVワクチン接種への対応は**

**問** 令和5年4月から9価ワクチンも公費で接種可能となった。対象者や保護者に対し、十分な周知が図れているか。

**町長** 今後も広報、HPを通じて、理解を深めてもらえるよう努めたい。



キャッチアップ接種始まる

**本町の投票率と投票所の環境整備は**

**問** 本町の投票率をどのように認識しているのか。

**選挙管理委員長** 一番身近な選挙にもかかわらず、残念の一言に尽きる。投票率が低い世代の意識転換を図る必要がある。

**問** 選挙期間は酷暑が続く、投票日も同様の暑さが続いた。投票所の環境整備が急務ではないか。

**選挙管理委員長** 公共施設や集落公会堂を投票所としているが、代替できる施設がないことも課題の1つだ。投票管理者や従事者と相談し、環境整備を図っていききたい。

\*アピランスケア…外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのこと。  
\*QOL…患者の身体的な苦痛の軽減など総合的な活力、生きがい、満足度のこと。

# 災害

## 1人暮らしの買い物難民救え

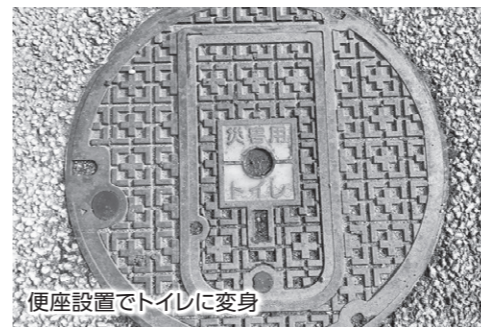
町長 検討課題として取り組む



はせがわ むつお  
長谷川六男議員の視点

**問** 核家族世帯や高齢化が進み、高齢者の1人暮らしが増えている。買い物等に行けない高齢者などに町はタクシー券を配布しているが、枚数に限りがある。循環バスを利用したくてもバス停が近くに無くなったため、非常に不便を強いられるとの声がある。そのような声が届いているか。  
**町長** バス停が遠くなったということは私自身は聞いていないし、担当課からも聞いていない。そのことによっては買い物難民が町で出ているところまでは認識していない。  
**問** 買い物難民を救う手立てを考えているか。  
**町長** 高齢者のみ世帯の

増加が想定される中、買い物に関する対応が求められていくものと考えており、今後の検討課題として取り組んでいく。  
**マンホールトイレの設置を**  
**問** 避難所になっている公共施設や各小学校、中学校にマンホールトイレを設置する考えはあるか。  
**町長** 今は災害用トイレを優先的に備蓄を図りたい。その後は、当然マンホールトイレを町としても考えていく必要がある。



便座設置でトイレに変身  
※マンホールトイレ…下水道マンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、トイレ機能を確認するもの。

## 2歳児から保育料を無料に

町長 総合的に支援策を考える



たなか ともゆき  
田中智之議員の視点

**問** 新発田市は令和4年度から2歳児の保育料を無料にした。一方、本町の保育料は0〜2歳まで有料で、子ども一人あたり月額2万〜3万円、収入が多い家庭では4万円程度だ。全国的には0歳児から所得制限なく完全無料にしている自治体が増えつつある。本町でもまずは2歳児の保育料を無料にできないか。  
**町長** 若い保護者にとってコロナ禍から物価高と連続した社会経済情勢の中、町独自の支援策も大変重要だ。国の子育て支援も注視しながら、財源も含めて総合的に今後の支援策を考えていきたい。

教科センター方式やめないか  
**問** 聖中だよりに「教科センター方式に疑問」という保護者の意見があった。この方式は開校から22年間ずっと迷走している。これにより誰が不利を被っているかは明らかだ。もう、やめないか。  
**教育長** センター方式にこだわらず、教室型で授業をして子どもたちと豊かな関係を持って教育活動を展開したほうが良いと考える。今後赴任される校長にも、私の考えを伝え取り組んでもらう。



未来の宝を育てやすい町に

## 弁天瀉 放課後デイサービスを本町に

町長 対象児童が少なすぎる



かわかみ りな  
川上りな議員の視点

**問** 放課後デイサービスを本町にも設立すべきと思うがどうか。  
**町長** 安定的にサービスを提供するためにも、一定の需要は必要となる。本町での設立は対象児童が少なすぎるため、現時点で設立の予定はない。  
**どうする**  
**町への関心のなせ**  
**問** 町に興味を持ってもらうべきではないかと考える。若者をターゲットにしたイベントを開催してみているか。  
**町長** 若者をターゲットにしたイベントで、人が集まるのか効果があるのか非常に難しい。



夜桜バックに記念撮影(弁天瀉風致公園)

**問** SNS映えるようなスポットを作るのはどうか。  
**町長** まだ設備がなく、今後の課題とする。  
**Uイーターン支援を**  
**問** 聖籠町育英資金貸与とは別に、Uイーターン支援を新設できないか。  
**町長** Uイーターンの場合、家庭の事情やさまざまなきょうろで戻りたいけど戻れないという方もいるため、制度自体が公平な対応となるのか慎重に検討する必要がある。

## 活性化 減免制度で生活困窮者を救え

町長 質問の趣旨は十分理解できる



あおき じゅん  
青木順議員の視点

**問** 町営住宅東山団地の新たな活用方法として、ひとり親世帯や低所得者や学生などに家賃の減免制度を設けてはどうか。  
**町長** 町に住んでいる片親のかたは他にもいる。公平性なども考慮し、弱者に対し何か支援できないかという趣旨の質問は十分理解できるものと思っている。  
**問** DV被害の相談件数はどの程度あるか。相談があった場合、対応は万全か。  
**町長** 平成30年度から現在まで22件あった。コロナ禍の相談も多かったと認識している。相談対応は現在も継続支援中のケースもあり、ケースごとの状況に応じた対応に



新たな利用方法でより暮らしやすい団地へ

努めている。  
**問** 町の議事録作成においては、多くの時間と経費がかかる。AIなどを活用し、労働時間と経費の削減に取り組めないか。  
**町長** 財源も踏まえ、研修と実証を予定している。議会でも検討してほしい。  
**問** 町の循環バスについて、町民から多くの意見があった。路線や時間帯など検討の余地は大いにあると思う。今後はどうする。  
**町長** 定期的にバス利用者アンケートを実施し、実現可能な範囲で改善したい。

# 子育て

## 2歳児から保育料を無料に

町長 総合的に支援策を考える



たなか ともゆき  
田中智之議員の視点

**問** 新発田市は令和4年度から2歳児の保育料を無料にした。一方、本町の保育料は0〜2歳まで有料で、子ども一人あたり月額2万〜3万円、収入が多い家庭では4万円程度だ。全国的には0歳児から所得制限なく完全無料にしている自治体が増えつつある。本町でもまずは2歳児の保育料を無料にできないか。  
**町長** 若い保護者にとってコロナ禍から物価高と連続した社会経済情勢の中、町独自の支援策も大変重要だ。国の子育て支援も注視しながら、財源も含めて総合的に今後の支援策を考えていきたい。

教科センター方式やめないか  
**問** 聖中だよりに「教科センター方式に疑問」という保護者の意見があった。この方式は開校から22年間ずっと迷走している。これにより誰が不利を被っているかは明らかだ。もう、やめないか。  
**教育長** センター方式にこだわらず、教室型で授業をして子どもたちと豊かな関係を持って教育活動を展開したほうが良いと考える。今後赴任される校長にも、私の考えを伝え取り組んでもらう。



未来の宝を育てやすい町に

## 新メンバーで 委員会始動

### 総務文教

改選後に半数のメンバーが入れ替わり、9月定例会は新しい顔ぶれでのスタートとなりました。この委員会では主に、町の行財政に関することや環境・防災対策、選挙事務の運営、教育や保育の運営等に関する調査を行い、議案や請願・陳情などを審査します。

9月21日に行われた初めての委員会は、教育委員と監査委員の人事案件、補正予算を慎重に調査しました。請願1件に対して

でも審査を行い全会一致で採択しました。

また、今後行う先進地視察についても議論し、得られる情報や知識をより一層町で活かせる視察にするべきとの意見が出され、視察内容や訪問先を委員会全体で検討していく事としました。

これからの4年間、所管に関し委員会全員で活発に議論を重ね、調査や審査をしていきます。

(委員長 伊藤千穂)



## 地域社会の繁栄に つながる活動

### 厚生産業

9月議会で改選後初の常任委員会が行われました。当委員会では、町民課、保健福祉課、産業観光課、ふるさと整備課、東港振興室、上下水道課、農業委員会それぞれの所管に関する事務の調査と、請願・陳情等の審査を担当します。これから4年間、新人3人を含む新しい編成で活動していきます。

主に、ライフラインの安全性と効率性が向上すること。町民の健康と福祉を守ることに。環境への貢献になること。農業を持続可能なものとする。東港工業地帯企業の発展につながる。このような視点を持ち、行政が透明かつ公平な政策を実施しているのかを調査していきます。また、町民の意見を吸い上げ行政に届け、地域社会の繁栄につながるよう働きかける活動をしていきます。

(委員長 高崎美由貴)



## 読んでもらえる 広報のために

### 広報広聴

9月29日、県議長会主催の町村議会広報研修会が開催されました。県内9町村の広報委員会と事務局が研修を受けました。午前中は、事例発表として聖籠町・弥彦村・刈羽村の3町村でした。それぞれの委員長が広報作成の事例・留意点を発表し意見交換をしました。意見交換の中には、議会広報の町民参加の掲載記事に苦慮していることや、対象者が氏名や写真の掲載に抵抗感があり



# 見て聞いて 委員会

# 話し合った レポート



協力と理解が得られないことがあるとのことでした。午後は講演「伝わる議会報の構造と証言」を自治体広報公聴研究所の金井氏から講演を受けました。本町の広報も講評を受けた中で、リード文をうまく使って読む側になることも大事との事でした。広報づくりの教訓を得て研修を終了しました。

(委員長 須貝龍夫)

## 議会運営委員会とは？

### 議会運営

改選後、新たな議会運営委員会メンバーが決定しました。ここで改めて議会運営委員会の役割についてお伝えしたいと思います。

議会運営委員会とは、名前にある通り「議会をスムーズに運営するための話し合いを行う委員会」です。所管事項は、①議会の運営、②議会の会議規則や委員会に関する条例、③議長の諮問事項の調査等3つであり、議会全体に関することは全て議会運営委員会で話し合っていることから、議会の中心的な役割を持っている委員会といえます。

そして私たちに課せられた直近の課題は、議会の可視化と議会のデジタル化の2つです。これからの4年間、委員6名で委員会活動にしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

(委員長 宮沢さやか)

# ようこそ 聖籠へ!

～ Welcome to Seiro ～

「ようこそ聖籠へ!」では、他市町村出身で、  
現在聖籠町にお住まいのご家族にインタビューをします。



やまぐち ちか  
**山口 知佳さん**  
(旭ヶ丘)



## 楽しい時間を大切に まったり!

今回は旭ヶ丘集落の山  
口さんご家族です。

Q 家族構成を教えてください。  
さい。

今は夫婦2人ですが、  
11月に第1子が産れる予  
定です。

Q 出身地と聖籠町在住年  
数を教えてください。  
夫は新津(秋葉区)出

身で、9月から聖籠町に  
住み始めました。私は聖  
籠町出身で22歳まで聖籠  
町に住んでいましたが、  
5年ほど新津に住み、ま  
た戻ってきました。

Q 聖籠町の良いところ(好  
きなところ)を教えてください。  
ださい。

果物がおいしいところ  
!!特にサクランボとナ  
シは毎年楽しみにしてい  
ます。自然豊かなところ  
も好きです。  
聖籠町のかたがたは人  
と人の距離が近く、と  
ても温みを感じられるの  
も好きです。



Q どんな町になってほ  
しいですか。

これから子育てをする  
にあたり、子育てに手厚  
い聖籠町ですが、子ども  
や若い夫婦に優しい町に  
なってほしいです。

Q どんな子どもに育つて  
ほしいですか?

たくさんの人と関わり  
を持ち、社会的で明るく、  
元気な子に育ってほしい  
です。

Q 山口さんご家族の夢を  
教えてください。

私たち夫婦は農業が好  
きだったり、熱帯魚や動  
物が好きだったりするの  
で、好きなことをしながら  
家族や友達と楽しい時間  
を大切にまったりと過ご  
していきたいです。

## お知らせ

～ information ～

議会トップページは  
こちらから



次回の定例会は、**12月12日(火)**開催予定です。

- ①FM 放送  
エフエムしばた 76.9MHz
- ②インターネットサイマルラジオ  
右の2次元コードから  
聴くことができます。

本会議を  
聴くことが  
できます



## ★表紙の写真★

「元気いっぱい ガンパロー!」  
(町立せいろう幼稚園運動会)

幼稚園児からたくさんの元気を  
もらいました。

(9月30日)

## 発行責任者

議長 宮沢 光子

## 広報広聴常任委員会

委員長	須貝 龍夫
副委員長	斎藤 豊
委員	手嶋 満
	伊藤 千穂
	長谷川 進一
	川上 りな

広報広聴常任委員会  
委員長 須貝 龍夫

議会広報紙を愛読されている町民の皆さん大変ありがとございます。今年の8月に議会議員の選挙があり、前任の委員1人以外は新任委員として、委員全員で日々、悪戦苦闘をしながら広報紙づくりに頑張っています。

今年は7月から近年にないような猛暑日が9月初旬まで続いて、県内でも水不足のため農作物の被害が出ました。行政機関も被害状況の把握と被害の出た農業者に対応しているようですが、被害補償を早くしてほしいと思います。

今後も議会広報紙が皆さんに今以上に読んでもらえる広報紙づくりに、広報委員全員で頑張りますのでよろしくお願致します。

また、愛読されている皆さんからも、議会や委員会に対する意見・要望等がありましたらお願致します。

## 編集後記

発行 新潟県聖籠町議会  
編集 広報広聴常任委員会  
印刷 昭栄印刷株式会社

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

[聖籠町議会](#)

[検索](#)

聖籠町議会だよりは、環境にやさしい植物油インキを使用しています。